



広島県 遺族新聞

第163号
平成31年1月1日
発行所
一般財団法人 広島県遺族会
〒730-0036
広島市中区袋町1番21号
電話 082 (247) 1216
FAX 082 (247) 1397
発行責任者 平田 修己
編集責任者 佐々木 幸雄
印刷所 (株)文化社

新年のご挨拶



一般財団法人 広島県遺族会
会長 平田 修己

新年あけましておめでとうございます。
ご遺族の皆様方には、平成三十一年の新春をお健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。



遺族会館全景

新年のごあいさつ



広島県健康福祉局長
田中 剛

新年明けましておめでとうございます。
御遺族の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

一般財団法人広島県遺族会におかれましては、創立以来、会員の皆様強い結束のもとに、戦没者の慰霊や御遺族の福祉の増進等と各種事業を積極的に推進されるとともに、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えていくための取り組みをされておられることに對しまして、深く敬意を表します。

先の大戦が終結して、七十四年が経過し、人々の戦争の記憶が風化していく中、戦争の悲惨さを若い世代に語り継ぎ、戦禍により貴い命が失われることが二度とないよう、恒久平和の実現に努めていくことが、今を生きる私たちの使命であると考えています。

旧年中は当遺族会に對しまして、あたたかいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。

戦没者遺族の処遇改善につきましては、昨年十二月十四日に開催された全国戦没者遺族大会等による働きかけにより日本遺族会が国へ要望した事項は、ほぼ満たされたものとなっております。

これからも戦没者遺児による慰霊友好親善事業の充実、特別弔慰金の受給要件の緩和(孫・曾孫への支給)、遺骨収集帰還事業の拡充強化等の諸問題の解決に向けて、日本遺族会の活動を支援していかねければなりません。

県といたしましては、引き続き国と連携を図りながら、今日の繁栄の礎となられた戦没者の方々に深く思いをいたし、戦没者の御遺族に對する援護事業の充実に向け取り組んで参ります。

今後とも、会長を始めとする会員の皆様より一層の、御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、貴会のみますますの御発展と、会員の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

遺族会の動き(予定)

- 平成三十一年二月二十四日(日曜日)
常務理事会
- 平成三十一年三月十日(日曜日)
第十五回理事会
- 平成三十一年三月二十四日(日曜日)
第十二回評議員会



謹賀新年

- | | |
|-----|--------|
| 会長 | 平田 修己 |
| 副会長 | 岩崎 正司 |
| 同 | 篠原 彌之 |
| 同 | 小西 照枝 |
| 同 | 亀井 源吉 |
| 同 | 橋本 直吉 |
| 同 | 竹鶴 寿夫 |
| 同 | 谷原 孝子 |
| 同 | 古川 孝子 |
| 同 | 中村 進治 |
| 同 | 上松 英邦 |
| 同 | 河本 智登里 |
| 同 | 中根 律子 |

第六回「戦没者を語る会」の開催

平成三十年九月十二日に福山市遺族会において、第六回「戦没者を語る会」が実施されました。当日は、備後会館に会員六十四名が出席し、篠原彌之会長挨拶の後、講師十名により盛大に実施されました。



第6回「戦没者を語る会」講師

第6回「戦没者を語る会」(福山市遺族会) 講師一覧表

順番	区分	原作者	講師	氏名	演題
1	会員	◎	◎	前川 正 清	太平洋戦争で父親を失ったその後の私の人生について
2	〃	◎	◎	小笠原 みどり	父の想いで
3	〃	◎		松 林 佳 子	父をたずねて5000キロ 追悼文
4	〃		◎	伊 藤 正 子	同上 代読
5	〃	◎	◎	小 畠 健 児	父への思いとその後の生活
6	〃	◎	◎	多 田 満 寿 子	「お父さん！」と呼んでみたい
7	〃	◎	◎	中 根 律 子	祖父について
8	〃	◎	◎	真 田 和 恵	父を思い遣るの記
9	〃	◎	◎	中 山 広 士	私の父と叔父
10	〃	◎	◎	佐 藤 泰 三	父の手紙

沖縄『ひろしまの塔』戦没者追悼式団体参列

平成三十年十一月十三日、小西照枝副会長を団長とする二十九名の参列団は、広島空港を出発し、沖縄に到着後に沖縄護国神社を参拝し、那覇市内に宿泊した。追悼式当日の十四日は、午前十時から挙行された追悼式に参列した。追悼式には、沖縄県知事(代理)を始め、六名の来賓が出席された。式典は、知事式辞を日下仁彦広島県社会援護課長が代読された。続いて小西照枝団長から追悼の辞が述べられた。その後、参列者全員の花が献花が行われ追悼式は、滞りなく終了した。式後に参列者全員の記念撮影が行われた。その後、那覇空港から石垣島に移動し、翌十五日は、西表島、由布島及び小浜島の見学を行った。翌十六日は、石垣島川平湾及び島内観光後に那覇空港経由で、十七時四十分全員無事広島空港に到着し、参列を終えた。

一 「ひろしまの塔」の概要

昭和四十二年三月 知事、県議会議長を世話人とする「ひろしまの塔」を建設するための広島県戦没者沖繩慰霊塔建設委員会が発足
昭和四十三年五月 完成、除幕式

二 合祀者等

- ① 合祀者数 三万四千六百三十五柱
- ② 合祀者の範囲 昭和十六年十二月八日以降の、いわゆる太平洋戦争での戦没者。
- ③ 戦死者の範囲
フィリッピン 九千九百八十八柱、
東部ニューギニア 九千六百六十五柱、
ビスマーク・ソロモン諸島 八千八百四十一柱、
ビルマ・インド 千四百六十二柱、
沖縄・南西諸島 千二百七十一柱、
ベトナム等 九百六十四柱、
硫黄島 七百八十七柱



「知事式辞」日下仁彦 社会援護課長

全国戦没者追悼式団体参列

平成三十年八月十五日、日本武道館において、天皇皇后両陛下のご臨席を仰いで、全国戦没者追悼式が行われました。県遺族会から平田修己会長を団長として三十三名が参列しました。前日の十四日に上京、東京都内に宿泊し、翌十五日の当日は靖国神社に昇殿参拝を行った後、記念撮影を行い日本武道館に入場した。式典は各都道府県からの遺族参列者等約六千五百名が出席し、十一時五十一分に天皇皇后両陛下がご臨場され、国歌斉唱、安倍内閣総理大臣の式辞、黙祷の後、天皇陛下のおことばがあり、追悼の辞、献花が行われて滞りなく閉会した。

式典終了後、静岡市に移動し、翌日、久能山東照宮、焼津港及び山梨県身延山を見学の後、帰路についた。

「第七十四回全国戦没者遺族大会」

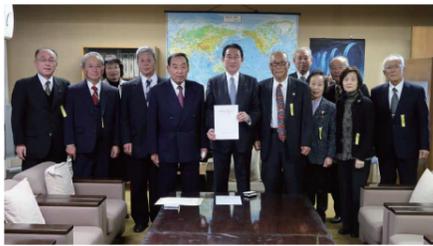
平成三十年十二月十四日に自由民主党会館八階ホールで開催されたこの大会に、篠原彌之副会長他役員等十名が参加し、大会終了後、要望事項に対する理解と協力を要請する陳情運動を地元選出国会議員に行なった。

重点陳情先(本人面会)

自由民主党政務調査会長 岸田 文雄氏(自由民主党政調会長室面会)
衆議院議員 岸田 文雄氏(自由民主党政調会長室面会)

(自由民主党地元選出国会議員)

区分	氏名	遺族大会	陳情
衆議院議員	河井 克行氏	欠席	本人対応
衆議院議員	寺田 稔氏	欠席	秘書対応
衆議院議員	平口 洋氏	欠席	秘書対応
衆議院議員	新谷 正義氏	出席	秘書対応
衆議院議員	小島 敏文氏	出席	本人対応
衆議院議員	小林 史明氏	出席	秘書対応
衆議院議員	溝手 顕正氏	出席	秘書対応
衆議院議員	宮沢 洋一氏	出席	本人対応
衆議院議員	石井みどり氏	出席	秘書対応



岸田文雄 自由民主党政務調査会長への陳情

「大会の概要」

- 一 参加者 四三二名
- 二 来賓 自由民主党代表 総務会長 加藤 勝信氏
- 三 経過 他二十五名

現在の厳しい財政状況のなか、公務扶助料、遺族年金等の改善をはじめ、厚生労働省社会・援護局提出の概算要求の完全実現を目指し、四七都道府県遺族会の代表が東京・自由民主党会館ホールに参集し、自由民主党所属の衆参国会議員の先生方を来賓に招いて遺族大会が開催された。開会の言葉を宇田川劔雄副会長が宣し、国歌斉唱について、靖国の杜に鎮まる二四六万六千余柱のご英霊に感謝の黙祷を捧げた。次に、水落敏栄会長挨拶、来賓あいさつをいただいた後、会議に入り、日本遺族会女性部長 三浦妙子氏から意見発表が行われた。続いて、大会宣言及び決議が満場一致で採択された。(詳細は、日本遺族通信 平成三十一年一月十五日号をご覧ください。)



天皇陛下 「おことば」



学童献花



篠原 彌之副会長挨拶



畔上 和男日本遺族会専務理事 講演



上松 英邦青年部長挨拶



小西 照枝女性部長開会挨拶

「女性部・青年部合同研修会」及び
「第七回戦没者を語る会」の開催

平成三十年度女性部・青年部合同研修会は、広島市南区のホテルニューヒロデンにおいて十一月十九日・二十日の両日にわたり、各支部からの出席者等六十四名により、盛大に実施された。

当日は、篠原 彌之副会長及び小西 照枝副会長兼女性部長並びに上松英邦青年部長の挨拶の後、講師十名による「第七回戦没者を語る会」を開催した。

午後四時から一時間にわたり、一般財団法人 日本遺族会専務理事 畔上和男氏を講師に迎えて、「中央情勢について」ご講演いただきました。

翌二十日は、広島市西区の「観音マリーナホップ」の見学を行った。

第7回「戦没者を語る会」講師等一覧表

順番	地区区分	区分	原作者	講師	所属	氏名	題名
1	4	◎	◎		世羅町遺族会	原田 隆文	「戦争体験で知った命の尊さ」
2	4	◎	◎		世羅町遺族会	楨橋 利三	「父への思い・家族の苦しき」
3	7	◎	◎		神石高原町遺族会	森田 暉子	「父の戦争 私の終戦」
4	1	◎	◎		三次市遺族会連合会	福島 至	「何時までも平和であってほしいと願う」
5	1	◎	◎		安芸高田市遺族連合会	清 覚 明 示	「不思議な体験」
6	3	◎	◎		東広島市遺族連合会	住 井 由加利	「母の戦い」
7	3	◎	◎		東広島市遺族連合会	岡 本 道 子	「硫黄島への遺骨収集に参加して」
8	3	◎	◎		東広島市遺族連合会	松 本 芙佐子	「父と娘」
	4	◎			三原市遺族会	(故) 正田 マスヨ	「筆舌に尽くせぬ戦争苦」
9	4		◎		三原市遺族会	谷 原 孝 子	
10	6	◎	◎		福山市遺族会	佐 藤 暢 家	「遺児と呼ばれた私の人生」

～遺族会館入居者の紹介～

1階から2階

「LAWSON 広島うらぶくろ店」

店長 三村 幸恵
コンビニといえば、LAWSON！
淹れたてコーヒー、デザート、
お弁当揃っております。
2階に広いイートインコーナー、
喫煙スペースもあります。

電話 082-298-8100

3階

「CaI」(キャル)「美容室」

店長 伊藤 悠
かわいい空間の中で
CaIにしかできない提案と
接客をところがけています。

電話 082-249-3357

4階

「加圧トレーニングスタジオ Biplus Beauty」

店長 土屋 友美
広島初！ 女性専用加圧トレーニングスタジオです。
興味のある方は一度体験しにお越しください。

電話 082-569-6911

詳しくは <http://www.biplus-beauty.jp>



ホームページの活用について

当会では、事業の内容を広く知っていただくために、ホームページを開設しています。会員をはじめ多くの遺族の皆様にご利用いただくことを願っています。

パソコン、スマートホンのインターネットから「一般財団法人 広島県遺族会」を呼び出し、ご利用ください。ホームページの中(HOME)に「ホームページのご利用方法」を設けました。より簡単に利用をしていただきたいと思ひます。

アドレス : <http://hiroshima-izokukai.jp>

閲覧機器 : パソコン、スマートフォン、タブレット

閲覧方法 : 検索サイトで「一般財団法人 広島県遺族会」と入力し検索してください。